

素粒子実験領域における学生優秀発表賞  
候補者選考規定

理事会承認 2023年1月21日

1. 日本物理学会素粒子実験領域では、学生の発表の質の向上と、顕彰により優秀な学生が認知されることを目的とし、日本物理学会学生優秀発表賞の候補者選考、および、推薦をおこなう。
2. 本賞候補者の選考、および、推薦は素粒子実験領域、代表、副代表、運営委員からなる「日本物理学会 素粒子実験領域 学生優秀発表賞選考委員会」(以下、選考委員会)がおこなう。選考委員会の委員長は、領域代表がつとめる。
3. 採点をおこなう審査員は物理学会の正会員で、特任も含む助教以上、および、博士の学位を有する研究員の審査員候補者の中から選考委員会が選出する。
4. 本賞の審査を希望する学生は、学会講演申し込み時に学生優秀発表賞への応募申請を行う。素粒子実験領域を希望領域として講演を申し込んだ発表のみを対象とする。各発表者に対して、3名以上の審査員を割り当てる。
5. 共通する話題のセッションをまとめた枠組みに対して、1~3名の受賞者を選出する。受賞者の選出は、年次大会、もしくは秋季(春季)大会時に選考委員会で行う。
6. 委員長は、学会後すみやかに選考委員会を開催し、各審査員の評点を基礎として、候補者を選定する。選定した候補者について異議がないかを高エネルギー研究者会議高エネルギー委員会に確認した上で、選考委員会が最終的な判断をおこなう。
7. 委員長は、候補者決定後すみやかに、審査員の名簿と受賞候補者の推薦名簿を物理学会に提出する。

改訂履歴

2019年11月9日 初版、理事会により承認された。

2023年1月21日 改訂、理事会により承認された。